

氏名	神里英吾
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3968 号
学位授与の日付	平成 21 年 6 月 30 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Factors affecting the choice of suicide method in Okayama : A database analysis from a forensic perspective (法医学のデータを用いた岡山県内の自殺手段に関する性別・年齢別・地域別の解析)
--------	--

論文審査委員	教授 栗屋 剛 教授 荻野 景規 准教授 氏家 寛
--------	---------------------------

学位論文内容の要旨

日本は、1998年に年間の自殺者数が急増して以降、現在に至るまで年間3万人以上を保っている。本研究では警察の協力を得て、2002年-2003年に岡山県内で発生した全自殺例に対して属性や背景因子などの情報を収集したデータより、824例(男性605例、女性219例)を解析対象とした。また、自殺手段を欧州の既存研究を参考に8つにカテゴリー分けし、さらに、手段選択における年代差と地域差を検証した。欧州の既存研究と比較すると、男女差の傾向はほぼ同じであった。年代別では、ほとんどのカテゴリーで均質性がなく、自殺の手段選択に影響を与えることが示唆された。地域差については顕著な違いはなかった。また、練炭を用いた一酸化炭素中毒による自殺では、他の手段では見られなかった時間集積性が認められた。本データベースは、従来の死亡統計に比べて得られる情報量が多く、本データを用いて疫学研究を進めることで有用な知見が得られる可能性がある。

論文審査結果の要旨

本研究は、2002年から2003年にかけて岡山県内で発生した全自殺例のうち824例を取り上げ、自殺手段(8分類)と年齢・性別・居住地などとの相関をみたものである。その結果、男性は女性よりも致死性の高い手段を用いる傾向があること、若年・壮年の層には薬物による自殺が多く見られること、などの知見が得られている。このような研究は本邦ではほとんどなく、価値ある業績と認められる。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認められる。